

港区議会
2025年

第4回 定例会レポート

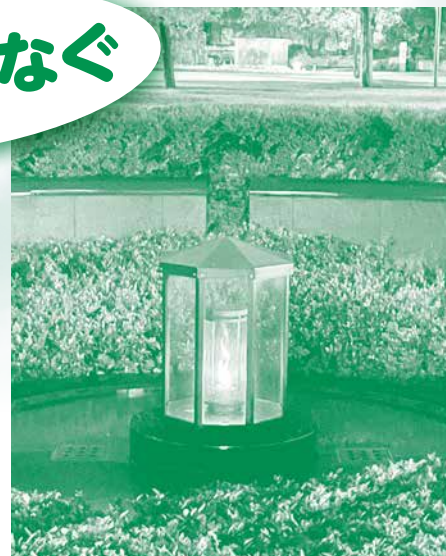
日本共産党
港区議団

くらし応援

賃金アップ

平和をつなぐ

みなさんと
力を合わせます!



港区立芝公園の『平和の灯』

港区平和都市宣言40周年記念事業

3月20日 金・祝
【春分の日】

場所：みなとパーク芝浦内
時間：9:00～17:00

港区が今年度力を入れて取り組んできた『港区平和都市宣言40周年記念事業』の集大成となる取り組みが開催されます。

リーブラホールでは…①モザイクアートの展示、②戦争・戦災体験集のパネル展示、③東京大空襲の記憶と色を表現した絵画展、④被爆ピアノの展示・ミニコンサート、⑤広島市と連携して被爆証言応答装置体験、⑥ウクライナ、ガザの被災状況を体感する戦災VR体験、⑦はがきと折り鶴で結ぶ「へいわ」参加ブース…など

他にも平和講座『港区の戦争と今も残る戦争の痕跡』と題して慶応大学の都倉武之教授を講師に迎えます。

多くのみなさんの参加で盛り上げましょう!

六本木「麻布米軍ヘリ基地」

米軍ヘリの飛行状況 記者会見で明らかに

ヒドイ騒音・震動・排ガスの被害

11月19日、六本木の麻布米軍ヘリ基地の撤去を求める住民らで構成する「在日米軍司令部移転・強化に反対する会(仮称)」は記者会見を行い区民有志らによる米軍ヘリの目撃情報を集計、結果に基づく飛来状況など記者会見を開いて公表しました。早朝・夜間の飛行実態、20分を超えるアイドリング、排ガス(オイル臭)など、傍若無人の米軍ヘリに近隣住民の生活が危険にさらされています。



写真提供:東京民報

質問

共産党議員団はこの記者会見を受け、①早急に区民へのヒアリングに取り組むこと。②騒音測定や監視カメラの設置で24時間体制で監視すること。③排ガスの被害も新たに分かった。大気の状態を調査すること。の3点を求めました。

答弁

区長は、①来年2月に住民アンケートに取り組む。②来年度、騒音調査を検討中。③アイドリングや排気ガスについては、近隣住民へのアンケートの自由記述欄などを活用して実態を把握する。と前向きな答弁を行いました。

近隣住民の声

「大統領訪日の時は、1時間以上のアイドリング」
「米軍のヘリが近隣のビルスレスレを飛んでいる」
「事故だけでなく大気汚染の影響も案じている」
「アメリカの要人が来るときは地域一帯が物々しい雰囲気になる」

困ったときはすぐ相談を

弁護士と区議会議員がご相談に応じます

TEL.03-3578-2945



福島 宏子
保健福祉常任委員
交通等対策特別委員長
議員団幹事長
区議2期



風見 利男
建設常任委員
防災危機管理等安全対策
特別委員
議員団長
区議10期

ホームページも
ご覧下さい



年金で入れる特養 多床室の整備を



昨年10月に開設した特養ホーム「青山スクウェア」は全室ユニット型個室です。

せっかく入所が決まった方から、「料金が高くて支払いが大変」と相談がありました。



2025年10月開設『青山スクウェア』

国が2002年に全室個室・ユニットとする方針を出してから港区でも特養ホームはユニット型が増えました。

物価の高騰、保険料の引上げなど高齢者を取り巻く環境は今後ますます厳しい中、安心して年金で利用できる多床室の整備を求めました。

区長は「ユニット型個室と比べより安価な多床室への入居を希望する区民がいることは認識している」「今後の整備にあたっては東京都が認める範囲内で多床室の整備も検討する」と答弁しました。

**第4回定例会にて
福島宏子区議が
質問しました**

【11月27日(木)～
12月5日(金)】

- ・『麻布米軍ヘリポート基地』周辺住民へのヒアリングの早期実施と騒音測定、環境調査を行うこと
- ・宅配ボックスの設置費用助成を拡大すること
- ・区民交通傷害保険加入の際、死亡保険金の受取人を記入できるようにすること
- ・よりよい避難所実現のため、エアドッグジャパンと災害時協定を結ぶこと
- ・区民検診の乳がん・子宮がん検診は毎年行うこと
- ・救急通報システムの対象者を40～64歳の「要支援1」以上にも拡大すること
- ・エンディングサポート事業を福祉総合窓口でも取り組むこと
- ・区民の願いである「年金で入れる特養」実現のために、多床室をつくること
- ・地域猫の高齢化支援に取り組むこと
- ・飯倉公園の桜の木を計画的に植え替えること
- ・港区スポーツセンタープールの利用休止期間中の団体利用を継続すること
- ・私立学校等にも区立と同等の給食費相当額を支給すること

保険証は3月末まで使えます

「マイナ保険証の強制を許すな」の国民の声と運動で、マイナ保険証がなくても申請なしで交付される「資格確認書」で今後も保険診療が受けられます。3月までは暫定措置として従来の保険証が使えます。従来の保険証はまだ捨てないで！



地域猫の高齢化対策を 求めました



地域猫の活動をしている方々から、地域猫を保護し去勢して地域に返す段階は終わり、保護した猫が高齢化し外で暮らすことが困難になった時どうするかがこれからの課題だと意見が寄せられました。現在は病院にかかる際、多くはボランティアの方々が協力してお金を出し合い最期を看取っています。

千代田区で「老猫ホーム&ホスピス」がオープンしたとの報道がありました。港区でも高齢化した猫の支援に取り組むことを求めました。

区長は「他区の事例を参考に、区内の実態も調査し、必要な支援のあり方について考える」と答弁しました。

補正予算

『分庁舎賃借』費用

約2億3千万円＋約11億6千万円(5年分)

区役所改革!? 支所業務の一部を本庁舎に集約!?

まず区民への説明が第一の立場で反対しました

区政の主人公は区民です。区役所改革についての検討が始まっていることは承知していますが、詳しい内容は現在検討中です。支所機能の一部を本庁舎に移すと言っても中身は決まっていません。このタイミングで「分庁舎賃借」だけが突然補正予算として議案に上がりました。区民の皆さんには全く知らされていません。議会でも十分な審議が行われていません。今後「将来に向けた持続可能な区役所への改革」を進めようというなら、その内容を区民の皆さんに説明することが一番先にやるべきことです。

一旦立ち止まり、予算執行の前に区民への説明責任を果たす事を求めて補正予算議案には反対しました。反対は共産党議員団2人、自民党議員団9人、小倉りえ子さんの12人です。補正予算は賛成多数で可決成立しました。

宅配ボックス設置費助成の拡大を 2026年度当初予算でしっかり対応

党区議団の提案で始まった宅配ボックス設置費用助成制度。4月にスタートしましたが、助成枠が少なすぎてすぐに満杯になりました。区民の要望に応えるべく募集枠の大幅な拡大を求めました。区長は、「対象や助成額の上限など当初予算で対応する」と答えました。